



「共に考える」業務を体験した地方公共団体の感想と今後への期待

▷埼玉県深谷市下水道工務課長

JSのサポートを受け事務部門と技術部門で課題を共有し、「共に考える」ことで、収支と連携させた中長期的な下水道事業の方向性を見出すなど、職員のレベル向上や実効性のある経営戦略の策定につなげることができました。また、最新技術や先進事例などの情報収集支援によって具体的な事業検討の円滑化が図られています。

今後も事業の安定運営に向けてトータル的かつ継続的な支援を期待しています。

▷新潟県村上市下水道課長

JSと「共に考える」ことで、持続可能な下水道のために取り組むべき方向性が見出せたことに加え、自ら問題提起し課題解決を検討する姿勢など職員の意識改革が進み、人材育成という成果も得られました。

また、TV会議の体験には情報共有、議論、意思決定が即座にできる有効性を実感し、本市でも導入を進めることとしました。

これからも課題解決の実現に向け『頼れるパートナー・JS』との「共に考える」良好な関係の継続を期待しています。

▷桐生市水道局長

今回、日本下水道事業団(JS)と「共に考える」ことによって再構築事業の着手に向けた大きな一歩となったことを大変うれしく思っております。「共に考える」では、データ分析による論点整理からはじまり、その論点に基づく議論のなかで、将来像と今後の事業方針を考えられたことは、職員の意識改革につながり、大変有意義なものとなったと思います。

「共に考える」のプロジェクト会議を通じて、職員全員が、「共に考える」の手法により下水道事業の将来像を検討できたという達成感、自信につながり大きく成長できたものと実感しております。

これからも、JSと築いた「共に考える」関係性のさらなる進化に大いに期待しているところです。



これまでに「共に考える」政策形成支援業務を実施した団体から一様に、職員の人材育成にも大きな効果があったとコメントをいただいております。